

あたらしい明日へ

2011年
新春号

東京労福協

新年のご挨拶



労働者福祉中央協議会
会長 笹森 清



東京労働者福祉協議会
会長 遠藤 幸男

新年明けましておめでとうございます。今年こそ、生きること、働くことに希望がもてる社会への扉を開く年にしたいと思います。「貧困の連鎖」「無縁社会」、3万人を超える自殺者…、こうした現実に正面から向き合い、人と人との絆の再生・地域の活性化、本当に困った人たちのためになる運動、社会改革につなげていけるか、私たち労働者福祉運動の真価が問われています。

中央労福協は、これからも幅広いネットワークとの協働で、必ず答えを出す

さま、新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新しい年を迎えるにあたり、新春の喜びや希望とともに、厳しい2011年の決意を固められたものと拝察いたします。

さて、昨年来、鳩山政権が、本格始動すべき年でありましたが、意にかなわず、6月の鳩山政権の交替、第一次菅内閣誕生、7月の参議院選挙の民主党大敗、定例の代表選挙による第二次菅内閣、年が明けて官房長官などの交替を絡めた二部閣僚交代による内閣改造とめまぐるしい政治体制の変動が繰り替えされ、極めて不本意な流れが

東京労福協に加盟するすべての団体の皆さん、新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新しい年を迎えるにあたり、新春の喜びや希望とともに、厳しい2011年の決意を固められたものと拝察いたしました。

さて、昨年来、鳩山政権が、本格始動すべき年でありましたが、意にかなわず、6月の鳩山政権の交替、第一次菅内閣誕生、7月の参議院選挙の民主党大敗、定例の代表選挙による第二次菅内閣、年が明けて官房長官などの交替を絡めた二部閣僚交代による内閣改造とめまぐるしい政治体制の変動が繰り替えされ、極めて不本意な流れが

東京労福協は、引き続き、連合東京や労金、全労済、東京都生協連などの加盟団体との連携を一層強化し、依然として深刻な「格差と貧困撲滅」をキーワードとした社会に共感の得られる労働者自主福祉運動を積極的に展開し、労働者の総合生活向上に向け、社会的役割を果たしていく決意を表明し、新年のご挨拶とします。

東京労福協は、引き続き、連合東京や労金、全労済、東京都生協連などの加盟団体との連携を一層強化し、依然として深刻な「格差と貧困撲滅」をキーワードとした社会に共感の得られる労働者自主福祉運動を積極的に展開し、労働者の総合生活向上に向け、社会的役割を果たしていく決意を表明し、新年のご挨拶とします。

本年は、主要な課題として、民主党政権の行方もさることながら、連合の皆さんのが全力を挙げる春闘や東京都知事選挙をはじめとする「統一地方自治体選挙」など極めて重要な取り組みが連続することとなります。

続いています。

東京労福協にご協力頂いた皆様からも
新年のメッセージが届きました。

ご紹介致しますと共に、
皆様への応援メッセージも
お待ちしております。

昨年は、東京労福協大森事務局長のご紹介で、故郷・富山労福協で講演も。そして、12月に私・仲八郎の後援会が発足。しかも、砺波市長、小矢部市長、南砺市長が顧問。しっかりと笑いの恩返しを。

2010年6月21日
法改正」報道

新年あけましておめでとうございます。
日弁連は、今年も市民連絡会やビギナーズ・ネットの皆さん
とともに、司法修習生の給費制の維持に向けた取り組みを全
力を上げて行つていきたいと思いますので、よろしくお願ひいた
します。

日本弁護士連合会会長
宇都宮 健児

われわれの生活がきびしくなる中
殺伐とした世相を反映するニュースばかりが
目にきます。

だからこそ、我々は手と手をにぎり
心と心を通わせていく必要があります。
そんな温かい社会をめざすために
みなさんと歩んでいきたいと思います。

ジャーナリスト
日本BS放送取締役 二木 啓孝

東京国際労働事情研究会の
海外視察事業

平成22年度、東京国際労働事情研究会視察は、10月31日から11月5日（5泊6日）の日程でマレーシアとシンガポールの企業や団体へ15名の団編成で実施いたしました。

今回の視察は、リーマンショック後、ASEAN諸国の中でもめざましい発展軌道に入っている両国に視点を当て、両国のマクロ経済、雇用対策、社会保障制度、進出企業の人材育成と課題などを意見交換し、有意義な交流ができました。

マレーシアでは、先進国となるべく、ITインフラ

整備・国内企業への支援と様々な経済政策を推進している一方、シンガポールでは、自由市場主義を推進し、世界経済の中継地点としての存在を示しつつあり、両国ともリーマンショックの後遺症が見られないほどの経済発展を遂げていきました。



2010年12月6日
東京労福協第48回定期総会報告



● 成果引き継ぎ課題報告

大森事務局長

改正貸金業法完全施行への取組、多重債務者を出さない運動、司法修習生に対する給与の継続支給を求める運動、第四期福祉リーダー塾での研修等の報告があり、2011年度の活動方針を提案し、満場一致で確認された。

● 方針

働く仲間の連帯、助け合い、支えあえる地域・社会に向けたセーフティネットの構築と労働者福祉運動の社会認知。反貧困運動への継続取組。

伊野瀬副会長閉会挨拶

労働者福祉運動の前進に向け、加盟団体と連携を強化し活動を展開する。

2011年度東京労福協役職員名簿

役職名	氏名	所属団体名
会長	遠藤幸男	連合東京
副会長	大野英一	中央労働金庫東京都本部
事務局長	伊野瀬十三	東京都生活協同組合連合会
幹事長	小川康夫	全労済東京都本部
事務局次長	大森栄司	連合東京
幹事	加藤章治	中央労働金庫
幹事	松村里美	全労済東京都本部
幹事	荻野晃義	連合東京
幹事	山本要	都労連
幹事	斎藤義史	東京都生活協同組合連合会
幹事	竹内篤史	中央労働金庫東京都本部
幹事	森田薰	全労済東京都本部
幹事	保坂正仁	財東京労働者福祉厚生協会
幹事	永田精一	財東京労働者共同保証協会
幹事	若林重敏	株勤労者サービスセンター
幹事	天辺見定	財東京労働者福祉基金協会
幹事	井林和彦	日野市労福協
顧問	三喜男	東京労働者福祉協議会
会計監査	修	全労済東京都本部
	久	中央労働金庫東京都本部
	行	東京労働者福祉協議会
	東京労働者福利待遇連絡会	

ジャーナリスト・木啓孝氏の司会で、日本弁護士連合会会長・宇都宮弁護士、中央労福協会・笹森清会長、(社)全国労働工具協会・岡田康彦理事長をゲストに、「民意が変えた! 貸金業法改正」が報道されました。

番組では、生活者を守る法律「グレーゾン金利撤廃」までの遠かつた道のりについて、関わられたゲストのみなさまが語り、生活者のための法律改正であることことが報道されました。

東京都多重債務問題対策協議会では、2011年3月7日～8日に「多重債務110番」の実施を予定しております。詳細は広報誌をご覧ください。



五団体セミナー

連合東京・中央労働金庫東京都本部・全労済東京都本部・東京都生協連・東京労福協
賢い生活者になるために！

11月24日(水)田町交通ビル6階大ホールにて201名の参加でセミナーを開催いたしました。今回は、私たちの運動で実った改正貸金業法完全施行の内容を幅広く知るために、仙台弁護会会长の新里宏二氏を講師に招き、改正貸金業法成立の目的、法成立から完全施行まで、完全施行の状況と今後の課題について講演を受けました。事例報告では、マネートラブルにかつ「賢い消費者になる為に」と題して、中央労働金庫営業統括部有竹丈二氏より、労組・企業向けビデオ放映のあと、多重債務問題は企業にとっても顧客情報漏えい・業務トラブル・人材損失リスク等、重大な影響を及ぼすことから多重債務者を出さないための啓発が必要なこと、金銭トラブルを見つけたら適切な相談窓口に誘導することの重要性が訴えられました。



総会記念講演

災害経験から学ぶリーダーの役割

総会記念講演では、高野甲子雄氏(ホテルニュージャパン火災の永田町特別救援隊長「伝説の消防士」)を講師に招き、「災害経験から学ぶリーダーの役割」と題して、ホテルニュージャパン火災の教訓から、災害は初動の10分間ですべてが決まることや、災害時におけるリーダーの決断がいかに大切かを生々しい映像を踏まえて熱のこもったご講演をいただきました。併せて、日頃より消火器の設置場所、消火器の本数、非常口の場所も確認しておくことが、大災害を防げる要素であると話がありました。

※初期の消火には最低3本の消火器が必要です。



全労済は、苦情対応プロセスの国際規格「ISO10002」の自己適合を共済団体として初めて宣言しました。

全労済は、2010年8月26日に開催した「第106回通常総会」において、苦情対応プロセスの国際規格「ISO10002 (JIS Q 10002:2005)」に適合した苦情対応システムを構築したことを、共済団体として初めて宣言しました。

今回の「ISO10002」自己適合宣言を契機に、これからも「お客様の声」を大切にし、業務改善や業務品質の向上に活かす活動をすすめてまいります。

詳細は全労済ホームページ (<http://www.zenrosai.coop>) でご確認ください。
全労済東京都本部 総務部 電話番号:03-3360-6031

東京労福協は「全労済業務推進支援活動」に全労済東京都本部と共に取り組みます。

●自賠責共済(マイカー共済含む) への加入促進

- 特に原付バイクの無保険(無共済)解消の取り組み
- ・四輪車、自動二輪車のマイカー共済加入

●火災・自然災害共済への加入推進

※商品内容等のお問合せは、支所または共済ショップにご連絡下さい

編集後記

各地では、豪雪被害も報じられる中、東京ではおだやかな正月で卯年を迎えた。年頭に最少不幸社会を掲げた菅政権にとって正念場、「うさぎとかめ」ではないが、新年早々もたついている暇はない。ゴールを目指してまっしぐらであってほしい。失われた20年がダブル新成人124万人、就職氷河期、日本の未来を担う若者たちに雪解けの春が訪れる事を願う。 東京労福協 事務局長 大森 栄司

ろうきんは「いつまでも身近で信頼される生活応援バンク」を目指します

雇用・所得情勢等の勤労者を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いているますが、ろうきんでは組合員・勤労者の生活応援につながる「低利融資の提供」をはじめ、「家計見直し提案」や「計画的な貯蓄の提案」、「相談会開催(退職準備セミナー・住宅ローン等)」を会員・組合員の皆様の協力を得ながら実施しております。

「ろうきん」は、これからもたらしく皆さまの暮らしに役立つ様々な商品・サービスを通じて、皆さまの夢や暮らしを応援してまいります。

もっとサポート
ずっとサポート
中央ろうきん

扶助・被扶助・障害・被災・子育て・教育・神奈川・山梨に、各種を展開しています。



中央労金



ろうきんイメージモデル 高垣 肇子

何よりも加入者の皆さまの安心を
第一に考えたいから。
営利を目的としない「保障の生協」である。
全労済は、火災はもちろん、地震・風水害・
盗難まで幅広くカバーします。

自然災害保障付 火災共済

保障のことなら
全労済 東京都本部

(株)東京労働者共済生活協同組合

東京労働者共済生活協同組合会員登録センター TEL:03-6023 新宿区西新宿7-20-6

変わらない「安心」を、
お届けしていくために。

ZENROSAI NEWS

